

卒業50周年
記念号発行：
熊高45会事務局
info@45kai.comHomePage:
https://www.
45kai.com

四五会会員の近況報告等 締切に間に合わなかった追加分です！

神様降臨！

私は、45会の皆様のお陰で、「神様降臨！」と、思わず、イスラム教徒のように地面に、ひれ伏したくなるような奇跡と感動の瞬間を、一度ならず二度までも体験できました。最初の「神様降臨！」は、平成元年（一九八九年）六月、東京品川にある、新高輪プリンスホテルの、「飛天の間」という、体育館の二倍以上の広さを誇る、文字どおり、日本有数の大ホールにおける、東京江原会の大同窓会でした。私たちは、幹事学年として、計画・準備、そして会の進行全般を担当することになり、今は亡き横田晋君のリーダーシップのもと、ほとんど仕事も家庭も擲って、準備に邁進しました。（あの1年のうちには、日本防衛の危機もあったのに、今にして反省もしております。あとの祭りですが。）しかし、結果として、千五百名を超える、熊中・熊高同窓生とご家族の参加を賜り、東京江原会始まって以来の、「日本一の大同窓会」を実現できたのだと思います。まさに、四五会の皆様の金字塔だと思っています。当日の名司会は河合早苗さんでした。大森男ちゃん（の奮闘も忘れられません。名前を挙げたらキリがないので、申し訳ありませんが以下、割愛させていただきます。改めて、四五会の皆様の奮闘努力と大車輪のご活躍に感謝申し上げます。敬意を表したいと思います。ありがとうございます。）さて、もう一つの「神様降臨！」は、平成十九年（二〇〇七年）四月二十八日の、熊本城築城四百年祭における、奇跡の出来事です。（写真は、スマホで「熊本城とブルーインパルス」を検索してみてください。）私は、宮城県の航空自衛隊松島基地まで、祝賀飛行のお願いに行きました。ブルーインパルスは、それまで、航空自衛隊の基地の上空でしか、展示飛行は、やっていませんでした。初めて、熊本城上空という新しい夢のステージに挑戦してくれたのです。（これはやはり、清正公のご仁徳でしょうね。）そして因果は巡り、このことが、ブルーインパルスを救うことになりました。というのは、あの、東日本大震災の大津波がブルーインパルスの本拠地である松島基地のある宮城県を襲いました。この時、ブルーインパルスは、九州新幹線全線開通の祝賀飛行のために九州に来ていて、難をのがれることができたのです。以上、何年も前のお話で恐縮ですが、ブルーインパルスと同級の皆様のご活躍の一端を紹介させていただきました。

最後になります。熊高同窓生の故高嶋潔君はブルーインパルスのエースパイロットでした。悲しいことに彼は、浜松基地における展示飛行時の事故で亡くなりました。熊本城築城五〇年祭を祝うブルーインパルスによる祝賀飛行というロマンあふれる、未曾有の挑戦が成功裡に完遂できたのは、故高嶋君が見守っていてくれたからに違いないと、思えてなりません。（二室 宮本 一路）

滋賀県大津市に居住！

阿蘇が実家で出水中出身の三室の宇都宮靖雄です。古希に辿り着き、ほっとしています。高校では柔道部と図書委員会に所属し先生や友人に恵まれ幸せな高校時代を送れたと思います。ありがとうございました。壺溪塾経由で大学へ進み一年留年し昭和五十一年（一九七六年）に松下電器産業株式会社へ入社し。二〇〇二年五十五歳まで人事部門で仕事をしました。二〇〇二年からフジテック株式会社に人事総務の仕事を行い二〇二〇年六月から監査役です。滋賀県大津市に二五年住んでおり家族は妻と一男二女です。

息子は上通に住んで市内で仕事をしています。阿蘇に母が九五歳でいますが二〇二四年六月からは阿蘇と大津との往復になると思います。

熊本で皆さんとお会いできれば幸いです。
（三室 宇都宮靖雄）